



ゼネラルオリエンテーション

公益財団法人
スペシャルオリンピックス日本

2021年6月発行

本テキストの無断複製・複写・改訂を禁じます



公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

1



- ゼネラルオリエンテーション
- アスリート理解
- 競技(座学・実技)

コーチクリニックを受講し、各地区組織が提供する当該スポーツのプログラムに10時間以上参加し、各地区組織に希望申請をすれば、スペシャルオリンピックス日本認定コーチになることができます。

【スペシャルオリンピックスのコーチクリニックは、コーチが資格を取ることのみを目的としているではありません。資格を目指し、獲得し、維持し、さらにレベルアップしていくことによって、アスリートにとってより良いプログラムが提供できるものと信じています。】

(SO組織本館コーチ研修制度より抜粋)



公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

2

2



- スペシャルオリンピックスの使命、理念
- スペシャルオリンピックスの歴史、特徴
- トレーニングと競技会
- スポーツ以外の活動



公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

3

3

Special Olympics Nippon スペシャルオリンピックスの使命



年間を通じたさまざまなオリンピック形式のスポーツのトレーニングと競技会を、知的障害のある人たちに提供します。

体力の向上、勇気を表現すること、楽しみを経験するために、継続的な機会を提供します。

参加を通じて、技術の習得や友情を、家族、地域の人々や他のアスリートといっしょに分ち合うことが出来るのです。

活動に参加する知的障害のある人を **アスリート**と呼んでいます。

Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

4

Special Olympics Nippon スペシャルオリンピックスの理念

個人の成長
家族の絆
社会への参加
(尊敬、受け入れ)

目標と結果

- 体力の向上
- スポーツ技術の向上
- 勇気と楽しみ
- 友情・交流（家族、アスリート、地域）
- 社会性の発達

内容

- 知的障害のある人
- オリンピック形式のスポーツ
- 継続的なトレーニングと競技会

同程度の競技能力のアスリートとの競い合い

一貫したトレーニング

適切な指導と励まし


Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

5

Special Olympics Nippon スペシャルオリンピックスの歴史

創設者 ユニス・ケネディ・シュライバー
姉 ローズマリー(知的障害)

- 1962年 自宅の庭でのデイキャンプ(アメリカ)
- 1968年 第1回スペシャルオリンピックス世界大会
- 1980年代 日本で「スペシャルオリンピックス」の活動
- 1994年 スペシャルオリンピックス日本 設立
- 2005年 スペシャルオリンピックス冬季世界大会・長野



現在、世界200の国と地域でSOの活動が行われています。
国内47都道府県、アスリート8,605人、コーチ5,463人が活動しています。
(2019年12月現在)

Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

6

Special Olympics Nippon **スペシャルオリンピックスのコーチ**

準備
 トレーニングの計画
 会場・用具の準備

コーチング
 手本を見せる
 技術的な指導
 観察とアドバイス



評価
 成長をたたえる
 計画をふりかえる

有意義な体験の保障

安全
 事故を防ぐ
 大会の引率
 アスリート・ケア

コミュニケーション
 相談相手になる
 意欲を引き出す
 交流を促す

Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

10

Special Olympics Nippon **スペシャルオリンピックスの競技**

● **夏季競技**
 陸上競技、バドミントン、バスケットボール、**ボッチ(SOボッチャ)**、ボウリング、
 競技テア(SOテア)、自転車、馬術、サッカー、ゴルフ、体操競技、柔道、ソフトボール、
 競泳、卓球、テニス、バレーボール
 [上記以外で世界での実施されている競技]
 クリケット、ダンススポーツ、フラッグフットボール、新体操、ハンドボール、カヤック、
 ネットボール、パワーリフティング、ローラースケート、セーリング、
 オープンウォータースイミング、トライアスロン、ビーチバレーボール

● **冬季競技**
 アルペンスキー、クロスカントリースキー、フィギュアスケート、フロアボール
フロアホッケー、ショートトラックスピードスケート、スノーボード、**スノーシューイング**

※フライングディスク(国内のみ)

Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 SO独自の競技

11

Special Olympics Nippon **スペシャルオリンピックスの競技**

種目やルールを追加し、幅広い競技能力で参加可能

陸上競技における種目の幅(例)

歩行関連	投てき関連
・ 10m アシスタント付き歩行	・ ソフトボール投
・ 800m 競歩	・ 砲丸投
走行関連	ジャンプ関連
・ 25m	・ 立幅跳
・ 4x100mリレー	・ 走高跳
・ マラソン	混成競技
・ ハードル競走	・ 五種競技
・ 10m車椅子競走	(100m/走幅跳/砲丸投/走高跳/800m)

Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

12

Special Olympics Nippon 確認クイズ①

スペシャルオリンピックスにあてはまるものを選びましょう。

- ① スノーシューイングが競技として含まれる。
- ② 陸上競技には10m車椅子競走が種目として含まれる。
- ③ 競技能力の高いアスリートに限定している。
- ④ イギリスの病院で活動が始まった。
- ⑤ IOCから「オリンピック」の名称使用が認められている。

Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

13

13

Special Olympics Nippon スポーツプログラム



トレーニング

1週間1回以上 × 8週間以上
(1ターム/クール)



発表の場

発表会、記録会、競技会
(1ターム終了時に実施)

1ターム後は、トレーニングの成果をルールに従って発表し、参加者全員のがんばりを認め合います。

Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

14

14

Special Olympics Nippon スポーツプログラム

ユニファイドスポーツ® プログラム Special Olympics Unified Sports®

- 知的障害がある人(アスリート)とない人(パートナー)が共にチームメイトとしてスポーツに取り組むプログラムです。
- 日頃から一緒に練習し、競技中は「チームメイト」、日常では「仲間」としてお互いに相手の個性を理解し、信頼しあい、助け合う関係をめざします。



Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

15

15

Special Olympics Nippon **スポーツプログラム**

MATP(モーターアクティビティーズトレーニングプログラム)

- 重複障害のある人や、より介護度の高い人が対象です
- 運動機能の向上や、交流を大切にしています。



ヤングアスリートプログラム™

- 2歳半から7歳の幼児期の子どもが対象です。
- “遊び”を中心とした内容で、楽しみながら運動能力の基礎を身に付けます。



Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

16

Special Olympics Nippon **スペシャルオリンピックスの競技会**

全員が表彰を受けます。

- 予選を基に同程度の競技能力でグループ分け(ディビジョニング)
- 決勝の各ディビジョンは3~8名です。



Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 ※途中棄権や失格の場合は、参加賞リボン ※スポーツマンシップに反する失格は除く 17

17

Special Olympics Nippon **マキシマムエフォートルール (旧オネストエフォート)**

予選・決勝を問わず、自己ベストに挑戦し、競技をする。



- 最高のパフォーマンスの発揮
- 公平な競い合い

- ※全力で競技をしないと…
- ディビジョニングが適正に行われない (競い合いができない)
 - 口頭による注意や失格の場合もある

Special Olympics Nippon 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

18

18

Special Olympics Nippon **ディビジョニング**

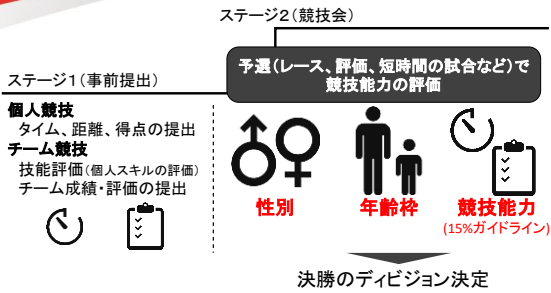
同程度の競技能力どうしでの競い合いを重視します。

スペシャルオリンピックス
**性別、年齢、
競技能力**
に基づくグループ分け

パラリンピック等
**障害の種類
障害の程度**
に基づくクラス分け

19

Special Olympics Nippon **ディビジョニング**



20

Special Olympics Nippon **アスリート宣誓**

“Let me win. But if I cannot win,
let me be brave in the attempt.”
「私に勝利を与えたまえ。もしかなわぬなら
挑戦することを称えさせたまえ。(直訳)」


「わたくしたちは精一杯 力をだして
勝利を目指します。たとえ、勝てなくても、
頑張る勇気をあたえて下さい。」

21

Special Olympics Nippon  確認クイズ②

スペシャルオリンピックスのスポーツプログラムと競技会の
特徴として適切なものを選びましょう。

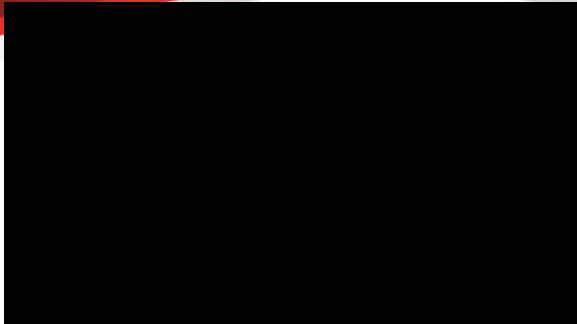
- ① ユニファイドスポーツは、2～7歳のアスリートに限定したスポーツプログラムである。
- ② 重複障害のある人や介護度の高い人も、スポーツプログラムの参加対象である。
- ③ 競技会でのディビジョンは、障害の種類や程度によって決められる。
- ④ 日頃から練習に真剣に取り組み、自分のベストを尽くすことが大切である。
- ⑤ 競技会・決勝を戦い抜いたアスリートは全員表彰される。

Special Olympics Nippon  公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

25

25

Special Olympics Nippon  どのシーンが心に残りましたか？



Special Olympics Nippon  公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 <https://www.youtube.com/watch?v=D3GyYbccwN0>

26

26

Special Olympics Nippon  どのシーンが心に残りましたか？



- 生き方を変えます
- ヒーローを生み出します
- 皆の心を動かします
- 違いを称えます

27

27
